



はんなん  
Hannan City Council

# 市議会だより

2022年  
令和4年  
12月号  
NO.126

発行：阪南市議会 編集：議会広報編集委員会 〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5680 (直通)



地球規模の課題である脱炭素社会の実現については、本市も令和3年2月のゼロカーボンシティ宣言をはじめとして取組を進めているところです。本市の今後の政策形成の一助とするため、環境省より関係職員をお招きし、『脱炭素社会実現に向けた勉強会』を開催しました。

日時：令和4年10月6日（木）

場所：阪南市役所3階全員協議会室

10月  
臨時会

議会の新構成決まる…………… 2

9月  
定例会

令和3年度一般会計歳入歳出決算審査認定…………… 4

一般質問…………… 7

その他の  
議会活動

議会改革推進検討会等…………… 12



▲市制施行30周年  
キャラクター作品  
大賞「なすっち」



はんなん市議会だより  
Webサイト

# 第1回 臨時会

# 議会の新構成決まる

令和4年第1回臨時会を10月18日に開催し、  
議会の役員等が選出されました。



監査委員  
じょうこう まこと  
上 甲 誠



副議長  
ふたがみ かつ  
二 神 勝



議長  
みもと えいじ  
見 本 栄 次

## 総務事業 常任委員会委員

主に次の内容を審査します。

- 市の財政に関する事
- 危機管理、防災に関する事
- 都市計画、まちづくりに関する事
- 下水道に関する事
- 職員の人事、給与に関する事
- 他



委員  
やまもと みつお  
山本 光男



委員  
ふたがみ かつ  
二 神 勝



副委員長  
おか やよい



委員長  
はたなか ゆじろ  
畑中 譲



委員  
いわむら としかず  
岩室 敏和



委員  
じょうこう まこと  
上甲 誠



委員  
すみの のぶかず  
角野 信和

## 第1回臨時会にて可決した議案(議会役員等の選挙、選出を除く。いずれも全会一致)

- ・ 阪南市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- ・ 令和4年度阪南市一般会計補正予算(第8号)について

# 厚生文教 常任委員会委員

主に次の内容を審査します。

- 環境保全に関すること    ○国民健康保険、国民年金に関すること
- 福祉施策に関すること    ○子育て支援に関すること
- 教育に関すること    他



委員  
もも まき  
百々 麻希



委員  
やまもと まもる  
山本 守



副委員長  
あさい たみこ  
浅井 妙子



委員長  
ふくだ まさゆき  
福田 雅之



委員  
みもと えいじ  
見本 栄次



委員  
なかむら ひでと  
中村 秀人



委員  
わたなべ ひでつな  
渡辺 秀綱

予算常任委員	◎山本 守 中村 秀人	○角野 信和 浅井 妙子	二神 勝	百々 麻希
決算常任委員	◎岩室 敏和 畑中 譲	○福田 雅之 上甲 誠	山本 光男 岡 やよい	渡辺 秀綱
駅周辺整備 特別委員会委員	◎中村 秀人 角野 信和	○山本 光男 上甲 誠	福田 雅之 岩室 敏和	二神 勝
子育て拠点整備 特別委員会委員	◎山本 守 畑中 譲	○浅井 妙子 上甲 誠	百々 麻希 岡 やよい	渡辺 秀綱
議会運営委員会委員	◎上甲 誠 浅井 妙子	○角野 信和 (二神 勝)	山本 守	畑中 譲
泉南清掃事務組合 議会議員	見本 栄次 浅井 妙子	二神 勝 中村 秀人	上甲 誠	福田 雅之
泉州南消防組合 議会議員	見本 栄次	畑中 譲	岡 やよい	
大阪広域水道企業団 議会議員	畑中 譲 (令和5年7月～)			

※◎委員長 ○副委員長、( ) はオブザーバー ※議長はすべての委員会に出席する。

# 第3回 定例会

## 令和3年度決算を 全会一致で認定

### 監査委員の意見

「経常収支比率は良化しているが、コロナ禍における臨時経済対策費が新たに創設される等、一時的な良化要因であることから、行財政構造改革プラン改訂版の一層の推進に取り組んでいただきたい。」

### 決算認定

#### 〔令和3年度一般会計歳入歳出決算〕

歳出については、特別定額給付金給付事業を実施した前年度と比較し、14・6%減の211億2396万円となりました。

歳入については、地方消費税交付金などが増加する一方、特別定額給付金給付事業に伴う国庫支出金などが減少したことにより、前年度と比較し、14・3%減の215億5144万円となりました。

その結果、翌年度へ繰り越すべき財源を除く、実質収支は、4億1953万円の黒字となりました。

また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は94・2%となり、前年度より1・4ポイント良化していますが、依然として財政基盤が脆弱であるため、地方交付税に依存せざるを得ない厳しい財政状況が続いています。

本議案は、決算常任委員会へ付託しました。

委員会における主な質疑・答弁は、次のとおりです。

令和4年第3回定例会を9月6日から28日までの23日間の会期で開催しました。本定例会では、令和4年度補正予算5件をはじめ条例制定2件、条例改正1件等を可決した他、令和3年度歳入歳出決算を全会一致で認定しました。また、議会から提出した意見書1件は賛成多数で可決しました。

**委員** 生活扶助補助事業について、前年度と比較すると約1億6600万円の減額となっているが、理由をどう把握しているのか、お伺いする。

**生活支援課長** 保護世帯及び人員の減少も1つの理由として考えられるが、コロナ禍における行動制限による受診控えが医療扶助約1億円以上の減少となっており、減額に一番寄与したものと考えている。

**委員** 消耗品費の中に新型コロナウイルスにより自宅療養されている方への支援も含まれているようだが、その内容と実績についてお伺いする。

**危機管理課長** 自宅療養等で親族からの支援を受けることが困難な方やインターネットで購入が困難な方を対象に令和3年9月から食料や生活必需品等の支援を行っている。令和3年度の実績としては、46件162人の方に支援をさせていただいた。

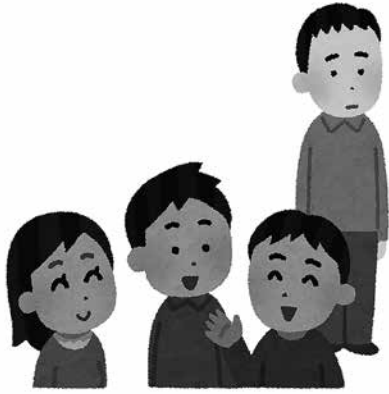
**委員** 新型コロナウイルスの支援について、現時点で構わないので令和4年度の実績を伺う。

**危機管理課長** 7月上旬から第7波の影響もあり、現時点では373件1344人の方に支援を行っている状況である。

**委員** 本市のファミリーサポートセンターのサポート利用助成費について、お伺いする。

**子ども支援課長代理** 本市のファミリーサポートセンター事業を利用する際、ひとり親家庭医療受給世帯の小中学生3年生以下の児童がいる世帯に、1時間700円のサポート無料券を年間24枚交付している事業である。





**委員** 自殺予防対策事業について、コロナ禍の中で、家に閉じこもりになり人との交流も減り、心が病んでしまう人も多いと聞く。声掛けなど地域の協力が必要と考えるが、いかがか。

**まづも支援課長代理** 毎年年度初めの4月から年度末までの1年間の有効無料券となっており、3月初旬に個別に案内を送っている。また、こども支援課窓口でひとり親家庭などの申請の際に、申請案内を行っているが、今後とも利用券の案内、周知に努めて参る。

**委員** ひとり親家庭の方は、ファミリーサポートセンターは利用価値のあるものと思うが、利用を促進するような方法や、一度登録してヒアリングをしないと使えないようなシステムになっているので、もう少し広報の仕方を考えてもらえないか。

**委員** 主要施策の成果説明の中で、女性相談しやすいように女性弁護士による法律相談をしたことで相談枠がすべて埋まり、相談活動の充実が図れたとのことであるが、女性弁護士の相談枠の拡充について、考えを伺う。



**市長** 自殺には孤立の問題が非常に大きいと思っている。孤立を無くすように、ハードルの低い相談場所や、日常的な繋がりをしっかりとるため、民間のNPO団体等とも「阪南市からは自殺者を出さない」とした共通の認識のもと、早く見つける・相談につなげることを強化していきたい。

**人権推進課長** 現在の女性が受けられる法律相談の状況や本市の財政状況を総合的に判断した上で、今後の考え方について、整理・検討して参りたい。

※決算委員会の主な質疑・答弁は次頁も続きます。

## 第3回定例会にて可決・承認した議案等一覧

- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第16号〕令和4年度阪南市一般会計補正予算（第4号）
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第18号〕令和4年度阪南市一般会計補正予算（第5号）
- ・阪南市南海財産区管理委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- ・財産の取得について
- ・指定管理者の指定について
- ・（仮称）阪南市子どもの権利に関する条例検討委員会条例制定について
- ・阪南市SDGsまちづくり基金条例制定について
- ・職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・令和4年度阪南市一般会計補正予算（第6号）
- ・令和4年度阪南市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ・令和4年度阪南市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- ・令和4年度阪南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ・令和3年度阪南市一般会計歳入歳出決算認定について
- ・令和3年度阪南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和3年度阪南市財産区特別会計歳入歳出決算認定について

- ・令和3年度阪南市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和3年度阪南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和3年度阪南市下水道事業会計決算認定について
- ・令和3年度阪南市病院事業会計決算認定について
- ・専決処分事項の報告について〔専決第14号〕損害賠償の額を定め、和解することについて
- ・専決処分事項の報告について〔専決第15号〕損害賠償の額を定め、和解することについて
- ・専決処分事項の報告について〔専決第17号〕損害賠償の額を定め、和解することについて
- ・専決処分事項の報告について〔専決第19号〕損害賠償の額を定め、和解することについて
- ・令和3年度健全化判断比率について
- ・令和3年度下水道事業会計資金不足比率について
- ・令和3年度病院事業会計資金不足比率について
- ・令和4年度一般会計補正予算（第7号）
- ・専決処分事項の報告について〔専決第20号〕損害賠償の額を定め、和解することについて
- ・専決処分事項の報告について〔専決第21号〕損害賠償の額を定め、和解することについて

**委員** 阪南市の図書館は貸出冊数が多い。次年度から指定管理者になるが、仕様書等ではどのように記載されているのか。

**図書館長** 新しい文化センターと図書館の一体型運営ということで、特に若年層や子育て世代も含めた新規利用者開拓の働きかけをしてもらえそうな提案を求めた。来年度以降その方向で努力いただけることを期待している。



**委員** DV被害者支援女性相談事業について、本市は2012年に「阪南市DV根絶宣言」を発信して、10年が経過する。市長の考えを伺う。

**市長** 残念ながらDV被害者の増加には社会的な背景がある。阪南市としては、DV被害者支援を含め、すべての人権事象を伴うような事件について、市としてしっかりと対応していき充実を図って参る。

◎全会一致で認定

## 意見書 を採択し、国等に送付しました

### ○シルバー人材センターの安定的な事業運営のための適切な措置を求める意見書（賛成多数）

#### 《要旨》

シルバー人材センターは、地域社会に密着した就業機会を提供することにより、高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実、健康増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに大きく貢献している。

令和5年10月から予定される消費税のインボイス制度では、会員のほとんど全員が課税売上高1千万円以下の事業者として、免税事業者となり、適格請求書を発行できないことから、センターは仕入れ税額控除ができなくなり、新たに消費税を負担しなければならない事態が生じる。

センターは、非営利の公益法人であることから、運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はなく、その影響は極めて大きく、存続の危機が懸念される。

人生100年時代を迎え、国を挙げて生涯現役社会の実現が求められる中、社会参加・健康維持に重点を置いた「生きがい就業」を実践するセンターの会員に、形式的に個人事業主であることをもってインボイス制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献している高齢者の生きがいを損ない、ひいては地域社会の活力低下をもたらすものと懸念する。

国におかれては、センターと会員間の取引は、一般の商取引とは異なることに鑑み、センター会員の配分金におけるインボイス制度の適用外など、シルバー人材センターの安定的事業運営のための適切な措置を講じていただくよう、要望する。

#### 反対討論

私どもは、シルバー人材センターの社会的な役割とその意義から、国において経営安定の支援が行われるべきである、という立場である。

本意見書では、税制の特例となるインボイス制度の適用除外を求めているが、厚生労働省は、「シルバー人材センターは、請負事業者として受注者と発注者が明確であり特殊性がないことから、公平性に鑑み税制特例は難しいと考えられる。」としていることから、当該法人の存続への懸念に対して「高齢者の生きがい、雇用の維持確保のため、シルバー人材センターの経営の安定が図られるような支援が必要であると認識しており、そのための政策を検討している。」としている。このことから、税制の特例を設けず税の公平性を担保するため、一部対象への特別扱いを行う微修正に終始せず、影響が懸念される、より多くの事業者を支援するための方策が求められるため、本意見書に反対する。

賛否が分かれた議案	福田 雅之	山本 守	二神 勝	百々 麻希	山本 光男	渡辺 秀綱	角野 信和	中村 秀人	畑中 謙	上甲 誠	見本 栄次	岡 やよい	浅井 妙子	岩室 敏和	結果
シルバー人材センターの安定的な事業運営のための適切な措置を求める意見書	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	議長	可決

○：賛成 ×：反対

# 第3回 定例会

# 一般質問

2会派が代表質問を、  
7人の議員が個人質問を行いました。  
その主な内容を掲載します。



## 中学校部活の休日の 運営について

(質問者)

大阪維新の会 (百々 麻希・山本 光男・渡辺 秀綱) 角野 信和



**問** スポーツ庁と文化庁が足並みを揃え、公立中学校の休日の部活は、「地域運営」との方針を发出了。令和5年度から7年度を改革集中期間と定め、自治体に推進計画の策定を求めた。将来的には、平日の部活も学校から切り離す検討を進める。  
中学校の部活について、生徒の部活選択肢の幅の拡大と、教員の働き方改革の観点から、どのような対応をしていくのか、お聞きする。

国・府の制度整備の状況等について情報収集に努め、休日の部活動の段階的な地域移行について、検討して参る (教育長)

**答** 本市では、スポーツ、芸術活動の推進について、現在、多くの地域の方にご支援をいただいているところである。教育委員会としては、今後も、国・府の制度整備の状況等について情報収集に努め、先進自治体の取組事例を参考にするとともに、鋭意、調査・研究に努めながら、令和5年度から7年度までの3年間の改革集中期間における、休日の部活動の段階的な地域移行について、検討して参る。

## 公立学校の空調設備の 整備について

(質問者)

公明党 (福田 雅之・山本 守) 二神 勝



**問** 阪南市では、学校の「特別教室」や「体育館」の空調設備が未整備となっている。阪南市の『宝』である子どもたちのためにも、また体育館にあたっては災害時の避難所として位置づけられているため、国の補助制度や新型コロナウイルス対応の地方創生臨時交付金等を活用して、空調設備の整備に取り組みべきであると考え、本市の考えをお聞かせ願う。

国の補助制度等を活用して空調設備の整備に取り組みべきであると考え、  
「学校のあり方検討」の内容等も参考に参る (生涯学習部長)

**答** 令和4年7月20日付で文部科学省から各種交付金等の活用について、周知がされている。教育委員会としては、空調設備が未整備となっている特別教室や体育館について、今後も国の補助制度の活用等も含めた整備手法や維持管理費などを含むコスト面、また大阪府内における整備状況や現在取組を進めている「学校のあり方検討」の内容等も参考に参るなど、調査研究を進めて参る。

## その他の質問事項

- 財政健全化について
- 成長戦略について
- 安心・安全のまちづくり



学校教育における環境教育について

公明党

福田 雅之



問 近年、地球温暖化などによる地球環境の悪化が深刻化し、環境問題への対応が喫緊の課題になっている。平均気温の上昇、豪雨災害の多発や台風の巨大化など、様々な影響が挙げられる。このような中、未来を担う子どもたちが、環境問題を学ぶことは大切であると考える。また、本市はSDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業にも選定されている。そこで、学校教育における環境教育についてお聞きする。

持続可能な社会のつくり手となる子どもたちの育成に引き続き取り組んで参る(生涯学習部長)

学校教育における環境教育についてお聞きする

答 小中学校における環境教育は、主に各学年の学習内容に沿って進めている。近年では、SDGsに関わる学習として食品ロスについて考える学習に取り組んでいる学校もある。今後も、様々な環境問題等を自分自身の課題として解決し、仲間たちと協働しながら探求していく学習などの充実を図ることと、新しい時代を切り開き、持続可能な社会のつくり手となる子どもたちの育成に引き続き取り組んで参る。



阪南市の人口を増やす取組について

無党派の会

上甲 誠



問 本市が考える「本市の魅力」とは何か？それを市全体で共有し、磨き、改めて市内外に発信することが阪南市の人口を増やすことにつながると考える。日頃から職員の皆様がそれぞれ「阪南市の魅力」を人に自慢できる環境づくりが大切である。市民も市役所も丸となって前向きにワガゴトとしてシビックプライドを醸成し、他から「うらやまし」がられる「阪南市」を作ってください。

シビックプライド、シティプロモーション、SDGsをうまく組み合わせて進めて参る(市長)

他から「うらやまし」がられる「阪南市」を作ってください

答 《教育長》本市の魅力は海洋教育が育む郷土愛、環境意識と文化レベルの高さ、生涯学習としての自然環境がある。《副市長》魅力は心を元気にする空の広さ、圧倒的な海の近さ、子ども達の学びの場になる海。《市長》魅力は海と山が出会うまち、全ての人が活動するまち、プロセスや意味をしっかりと伝えるまちである。シビックプライド、シティプロモーション、SDGsをうまく組み合わせて進めて参る。



▲海と山が出会うまち「阪南市」

その他の質問事項



Table with columns for dates (7月, 8月) and meeting titles such as '近畿市議会議長会第1回正副会長会議' and '総務事業常任委員会'.

議会日誌



コミュニティバス運行事業見直しによる  
利便性向上と行財政構造改革について



大阪維新の会

わたなべ ひでつな  
渡辺 秀綱

**問** 市民病院ほかの利用者に対する利便性を向上させた上、輸送効率など改善した結果、今回の見直しで運賃収入増加が期待できる点は評価できる。一方で、利用目的の1位である買物や民間医療機関への利用に対しては改善に至らず、市民の生活圏域の拡大を図る事業目的への対応が不十分。事業目的と利用目的が適うよう便益に見合った料金設定への見直しを含め、抜本的な改革が「引き続き」必要ではないか。

**答** 今年度予定しているオンデマンド交通の実証実験では、病院やスーパーについても停留所の候補先として調整を進めているところ。その検証結果を踏まえ、オンデマンド交通を市民の生活圏域の拡大につなげることができぬのか検討して参る。また、現在、乗車1回につき約410円の助成を行っていることから、需要に応じた料金設定について、他団体の状況も踏まえ、併せて検討して参る。

抜本的な改革が「引き続き」必要ではないか  
需要に応じた料金設定について、他団体の状況も踏まえ、検討して参る（都市整備部長）



阪南市における  
里親の取組について



大阪維新の会

もも まき  
百々 麻希

**問** 少子化は進んでいるが、何らかの事情で親と離れて暮らす子どもの数は増加している。里親委託率は20%しかなく、ほとんどの子どもたちは児童養護施設で生活し、家庭を知らずに成長している。厚生労働省は、家庭養育を進めているが、担い手が足りない。阪南市でも里親制度を広く知ってもらい、大阪府と連携し里親委託率を上げ、一人でも多くの子どもが家庭を経験することができるよう取組をお願いしたい。

**答** 本市においては、大阪府児童相談所の依頼を受け、チラシの配布やパンフレットの配架などにより、里親制度の周知・啓発に努めているところである。里親制度については、今の社会状況の中において、子どもの人権、子どもの育ちを子どもの立場に立ってしっかりと支える非常に必要な制度と考えている。大阪府としっかりと連携しながら、この制度を有効に運用して参りたい。

「一人でも多くの子どもが家庭を経験することができるよう取組をお願いしたい」  
大阪府としっかりと連携しながら、里親制度を有効に運用して参りたい（市長）



▲コミュニティバス

その他の質問事項

○新型コロナウイルス感染症対策について

9月	10月
6日 本会議（1日目）	3日 議会改革推進検討会
7日 本会議（2日目）	5日 泉南清掃事務組合協議会行政視察（草津市）
8日 本会議（3日目）・議会改革推進検討会	6日 脱炭素社会実現に向けた勉強会
12日 総務事業常任委員会	7日 近畿市議会議長会正副会長・支部長会議
13日 厚生文教常任委員会	13日 議会運営委員会
14日 予算常任委員会	14日 近畿市議会議長会理事会・議長研修会
15日 決算常任委員会	18日 臨時会
21日 議員連絡会・議会運営委員会	21日 議員連絡会・ロボティックアーム手術支援システム市民公開講座上映会
28日 本会議（最終日）・議会改革推進検討会	26日 神奈川・南足柄市より行政視察（重層的支援について）
	大阪府市議会議長会理事会 厚生文教常任委員会

複合型サービスの設置について

市民くらぶ

おか やよい



**問** 2025年をめどに進められている地域包括ケアシステムは、介護が必要となる以前の介護予防の充実が課題である。コロナフレイルゼロ会議へ健康準備室も参加し、情報共有しながら方向性を構築することが大事である。今年度は入退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取りを協議しているが、40〜60代の介護者が増加している傾向から、実用性の高い看護小規模多機能居宅サービスを設置してはどうか。

実用性の高い看護小規模多機能居宅サービスを設置してはどうか  
(健康福祉部長)

**答** 医療的ケアを必要とする要介護認定者の在宅療養へのニーズの対応に向けて、サービスの整備が必要となることが予測される。そのため、次期計画である第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定に備え、事業所の運営状況やサービス提供状況の確認に努め、併せてニーズ調査を実施するなど、複合型サービスの必要性について調査して参る。

その他の質問事項  
○地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進に向けた取組  
こしん



男子トイレへのサニタリーボックス設置について

公明党

やまもと まちる 山本 守



**問** サニタリーボックス設置について、近年前立腺がんや膀胱がんなどの増加に伴い、男性で尿もれパッドを着用する人が増えているが、ほとんどの男子用のトイレにはごみ箱がないため、使用した尿もれパッドの捨て場所に苦労している。捨て場所がないので、持ち帰っていたと思う。トイレにサニタリーボックスがあれば使用済みのパッドを廃棄でき、安心して外出ができる。見解を伺う。

サニタリーボックス設置について見解を伺う  
今後、公共施設の状況や管理上の課題などについて検証した上で、順次、設置に向けて取り組んで参る(市長)

**答** 本市では、誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しないまちを目指している。年齢や性別、病気や障がいなどの有無にかかわらず、市民が多様性を認め合い、互いを尊重し合う取組を広め、誰もが健康で幸せに安全に安心して暮らせるまちにするためにも、男性トイレにもボックスの設置は必要と認識している。今後、公共施設の状況や管理上の課題などについて検証した上で、順次、設置に向けて取り組んで参る。



▲男子トイレへのサニタリーボックス設置

「定例会及び委員会の録画映像」を見ることができます。

市議会のウェブサイトでは、次回定例会のご案内や一般質問通告書、議決結果表、議会だより、定例会の「録画映像」等を掲載しています。

また、「会議録検索システム」を市議会ウェブサイトに掲載しています。これにより、本会議での内容を記録した「会議録」、委員会での内容を記録した「委員会録」をインターネットを通じてご覧いただけるようになっていきます。

市議会ウェブサイトには、阪南市ホームページ左段にある「阪南市議会」のボタンをクリックしていただくとアクセスできます。多くのアクセスをお待ちしています。



## あなたも議会を傍聴しませんか

市議会には定例会（3月・6月・9月・12月）と臨時会（必要の都度）があります。傍聴には難しい手続きは不要です。本会議当日、議会事務局の受付で住所、氏名等を記入していただくだけで自由に傍聴できます。議場の定員は34人です（先着順・受付開始時間は8時45分から）。また、委員会室や市役所ロビーでのテレビ中継も行っています。どうぞお気軽にお越しください。

また、傍聴された方を対象にアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、9月定例会の傍聴者数は、延べ14人でした。

現在、新型コロナウイルス感染症対策として、受付時に検温及び手指消毒のご協力をいただいております。



会議録は、図書館・公民館・情報公開コーナー、または市議会ウェブサイトで閲覧できます。

なお、9月定例会の会議録は11月末頃に完成予定です。

次の定例会は、**12月1日(木)**からの予定です。

詳しくは議会事務局まで

☎471-5680(直通)

## 少子の現状を打開する施策について

市民くらぶ

あさい 浅井 たえこ 妙子



**問** 子育てを支援し「もう一人産みたい」と思えたり「阪南市に住みたい」と選ばれるまちになるためには、「医療や福祉の充実」「あそびの環境」「教育の魅力」「中学生以上の子ども・若者支援」「情報の充実」が必須である。中でも「病児保育」は常に上位にある支援で、実現できれば子育て環境の大きな安心になり、まちの魅力にもつながる。阪南市の現状と、「病児保育」の可能性についてお聞きする。

**答** 現在、本市では、公立保育所2所、私立認定こども園1園で、体調不良児対応型の病児保育を実施している。これは、保育中に乳幼児が体調不良となり、保護者の方が迎えに来られるまでの間、保護的な対応を行うものである。家庭で保育を行うことが困難な子どもを対象とした病児対応型、病後児対応型の病児保育事業については、市主体での実施は難しいものと考えている。

市主体での実施は難しいものと考えている  
（子ども未来部長）

「病児保育」の可能性についてお聞きする



### その他の質問事項

- 結婚の状況について
- 青年・若者の活動と支援について
- 休日診療と夜間救急について
- 公立幼稚園の支援の多様化について
- 「いのちの安全教育」について



## 政務活動費の交付実績を、 阪南市議会ウェブサイトにて公開しています。

平成28年度交付分より、議員ごとの政務活動費の交付状況及びその用途、領収書等を公開しており、現在、令和3年度分までを公開しております。市議会ウェブサイト、「政務活動費について」よりご覧ください。



## 議会改革推進検討会

「議会基本条例の制定に向けて」

「スケジュールの変更について」

【お詫び】

議会だより8月号において、今後のスケジュールをお示ししておりましたが、細部の調整に加え、会員から議会基本条例の策定に関連して、政治倫理についても検討すべきではとの意見がありました。こうしたことから、当初予定していましたスケジュールを延長させていただくことになりました。お詫び申し上げます。

これからも会員はもとより、議員各々が徹底的に議論し、阪南市議会としてより良い「議会基本条例」の策定に努めてまいりますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

なお、今後の検討会の概要についても、随時ホームページへアップしますので、ご確認くださいませよう、よろしくお願いたします。

これまでの「議会改革推進検討会」の概要はこちら

議会改革推進検討会

(第2期)の答申はこちら



## 南部市議会議長会

議員研修会

日時…令和4年8月3日(水)

場所…テクスピア大阪

講師…一般社団法人SNSエキスパート協会代表理事 後藤 真理恵氏

### 【研修の内容】

「SNSで広がる市民とのコミュニケーション」を題材に、インターネットによる情報発信の重要性が高まる中、トラブル例など、SNS活用に当たっての危機管理等について学びました。



▲南部市議会議員研修会

## ロボティックアーム手術

支援システムに関する研修会

日時…令和4年10月21日(金)

場所…阪南市民病院7階さつきホール

### 【研修の内容】

7月16日(土)に開催された「人工関節術におけるロボット手術の現状と展望」の市民講座の内容を聞き、阪南市民病院に最近導入されたロボティックの技術について学びました。

病院長は、「地域のために貢献する情熱をもって取り組んでいく。」と力強く話されていました。



▲ロボティックアーム研修会

## 編集後記

数年ぶりに秋祭りが戻り、阪南市の一番暑い日がほんの数日前に感じられます。

文化祭や運動会も終わり朝晩の冷え込みが厳しい季節となりました。10月中旬に臨時議会が行われ、議会広報編集委員会のメンバーが替わり、委員長をさせて頂くこととなりました。できるだけ多くの皆さまに議会の様子を伝え、読んでいただけるよう編集委員一同今後も努めてまいります。

皆さんのご意見ご感想を聞かせて下さい。住民の皆さまのお力をお借りして楽しい議会だよりにしていきたいと思っております。(山本 光男)

### 議会広報 編集委員会委員

委員	長	山本 光男
副委員	長	福田 雅之
委員	員	中村 秀
委員	員	上甲 誠子
委員	員	浅井 妙子
オブザーバー		本 栄次
議長		見 二
副議長		長 勝

## 「ご意見」をください

本誌が、皆さんにとってより身近なものになりますよう、内容やレイアウトについてのご提言等なんでも結構ですので、ご意見・ご感想がございましたら、左記までお寄せください。

〒599-1029

大阪府尾崎町35番地の1

議会広報編集委員会

TEL 471-5680(直)

e-mail ghkai-syomu@city.hannan.lg.jp